

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校 学校番号 49

I 自己評価

1	学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。		
2	スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
		・生きる知恵をもって社会でリーダーシップを発揮する生徒 ・自ら問いを立て「探究」する生徒 ・心に故郷を抱き、世界を見据える生徒	・質の高い授業と「探究」する学びの提供 ・社会や自然とつながる多様な学びの場の提供 ・一人一人が輝き、仲間とつくる感動の場の提供	・基礎学力と基本的な生活習慣を身に付けた生徒 ・志をもって自分を伸ばそうとする生徒 ・大学進学を目指す生徒
3	評価する領域・分野	◇進路指導		
4	現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・年5回の保護者進路研修会が定着し、学校からの進路情報の提供について（質問23）、AまたはBを選んだ保護者は93%を超えた。 ・「進路ノート」を軸に個に応じた進路指導の結果、82%の生徒が学校は自分の可能性を引き出していると感じている（質問20）。 ・すべての質問項目の答えが10割となる努力を継続する。 		
5	今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇共通テストの体幹である、読解力の育成 ◇総合型選抜・学校推薦型選抜の合格率を高めるための指導の研究		
6	重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒を対象とした論理的思考力育成のための教材を、進路指導部を中心に選定し、実施の計画を立てる。 ・昨年度の総合型・学校推薦型選抜向け行事に加えて、実践的な面接対策講座を計画する。 		
7	目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
	(1) 論理的思考力育成のための教材の選定と実施計画立案 (2) 学研と協力しての講座の計画立案	(1) 大学入学共通テストにおける平均点等 (2) 総合型選抜・学校推薦型選抜の合格率		
9	取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
	<ul style="list-style-type: none"> ・第一学習社「論理の力を育てる」シリーズの取り組み ・面接重点講座等、昨年度の行事の継続的な企画実施。 ・面接対策講座（生徒・教員対象）の企画・実施 	①多くの生徒が取り組んできるか。 ②多くの参加者があり、内容が充実していたか。 ③多くの参加者があり、内容が充実していたか。	A B C D A B C D A B C D	
12	成果課題	○論理的思考力育成のための取り組みを行ったことで、多くの生徒が各教科の根底にある、育成すべき力について意識することができた。 ○総合型・学校推薦型選抜向け行事については、従来のもの、新たに企画したものとも、多くの参加者に対して有意義な研修を行うことができた。 ▲総合型・学校推薦型選抜を志望する多くの生徒が、志望理由書の作成に苦勞することが多いため、対策が必要である。		総合評価 A B C D
13	来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は本年度までの有意義な部分を維持しながら、それらに加えて、志望動機書についての講座を新たに実施することを計画している。 ・論理的思考力を継続的に育成するためには、どのような取り組みが必要かを学校全体で考えていく必要がある。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和5年2月10日

【意見・要望・評価等】

- ・読解力育成については、読書等もよいがよいトレーニング教材があれば使用できるとよい。
- ・進路決定者とそうでない者が、うまく住みわけができないか。
- ・探究が進路決定に繋がっている部分を、もっとアピールできるとよい。
- ・志望動機書の作成は就職時でも大切であり、今から力を入れておくことは良い。